



交流と親睦

～公民館交流球技大会～

6月14日(日)「古牧地区公民館交流球技大会」が開催されました。この大会は、古牧地区住民が交流することにより親睦を深め、お互いに理解することを目的としています。

昨年までは8月に開催されていましたが、夏季の猛暑を避けるため開催時期を6月に変更したことにより、野球・卓球・ボッチャの各競技はベストコンディションの中で行われました。

野球は、昨年降雨により中止されたことから2年ぶりの開催となりました。犀川第1運動場で7チームが参加し各チームが2試合ずつ対戦をしました。全7試合は真剣かつ見応えのある試合運びとなり、ホームランやファインプレーには大歓声があがりグラウンドに響き渡っていました。

卓球は、市営古牧体育館で4チームが参加し、各チームの総当たり戦で行われました。一打一打に力を込めた手に汗握る試合が多く見られ、体育館の中は熱気に包まれていました。

ボッチャは、古牧小学校西体育館で12区から21チームが参加して行われました。この競技は年齢にとらわれず老若男女が一緒になって楽しむスポーツであることが最大の魅力です。どのチームも和気あいあいと競技を楽しんでおり、スーパーショットに対しては敵味方関係なく拍手を送る姿は感動的でした。

この大会は交流と親睦を目的としているので順位を競うものではありません。競技に参加した選手は「スポーツを楽しむことは人生

野球



卓球



ボッチャ



を豊かにする」「競技人口が減り地区行事への参加意識が希薄になる中、こうした大会がいつまでも続いたらうれしい」などと話していました。

(公民館部)

地域の安全を守る青パト ～青色防犯パトロール研修会～

「青色防犯パトロール研修会」が6月8日（月）古牧公民館において開催されました。

「青色防犯パトロール」（通称：青パト）とは、「青色回転灯を装備した自動車を使い、青色回転灯を点灯させて行う自主防犯パトロール」をいいます。この研修会は、青パトを適正に行う上で受講が必要であり、車両には受講者1人以上の乗車が要件となっています。青パトの主な目的は、地域住民が主体となって地域で起こる犯罪や事故等を未然に防ぐことであり、幼児や小学生等の通学路及び公園やその周辺など、犯罪や事故が起きやすい場所を重点的にパトロールします。

講師は長野中央警察署生活安全課係長の宮澤様に務めていただき、古牧地区の区長と防犯女性指導員等総勢34名が受講しました。研修会では、「青パト・マニュアル」に沿って「青色防犯パトロール（青パト）とは」から始まり、パトロールの「方法」や「実施要領」「着眼点」等について説明を受けました。

特に、パトロール場所での注意点として、公園では子どもの飛び出しはないか、不審者がいないかを、茂みや遊具・トイレの陰など視界が悪い場所を特に

注意して巡回（徒歩での巡回にも配慮）すること、パトロール中の注意事項として、不審者が逃走しても追跡など危険なことはせず警察に通報すること、人命救助の優先を教えていただきました。その他、緊急時の対応要領についても説明がありました。

古牧地区では、青パトを、この研修会受講者の防犯女性指導員が中心となって5月27日から来年3月4日まで12回実施します。

（防犯部）



健康で元気に

～健康づくり大会を開催～

健康福祉部主催の「古牧地区健康づくり大会」が6月21日（日）市営古牧体育館で開かれ、幼児や小学生から高齢者まで幅広い世代の72名が参加しました。

開会式の後、AC長野パルセイロ普及部のスタッフ3名のリードで健康づくりの運動が始まりました。

最初に手と腕のリズム運動で頭脳を活性化させた後、ビブスを放り上げて頭や背中

でキャッチする全身運動を行って準備運動が終わりました。

続いて、参加者同士がペアでボールを使う運動や、チームに分かれサッカーボールでカラーコーンを倒すゲームなどを行い、終盤は小学生と大人等に分かれてサッカーゲームで楽しく汗を流しました。

最後に参加者全員でじゃんけん大会を行い、AC長野パルセイロから提供されたトートバッグなどのグッズがプレゼントされました。

初夏の陽気の中、約1時間を楽しく事故なく無事終えることができました。

（福祉健康部）



わが町の水の流れ

古牧郷土史研究会 倉石修嗣郎

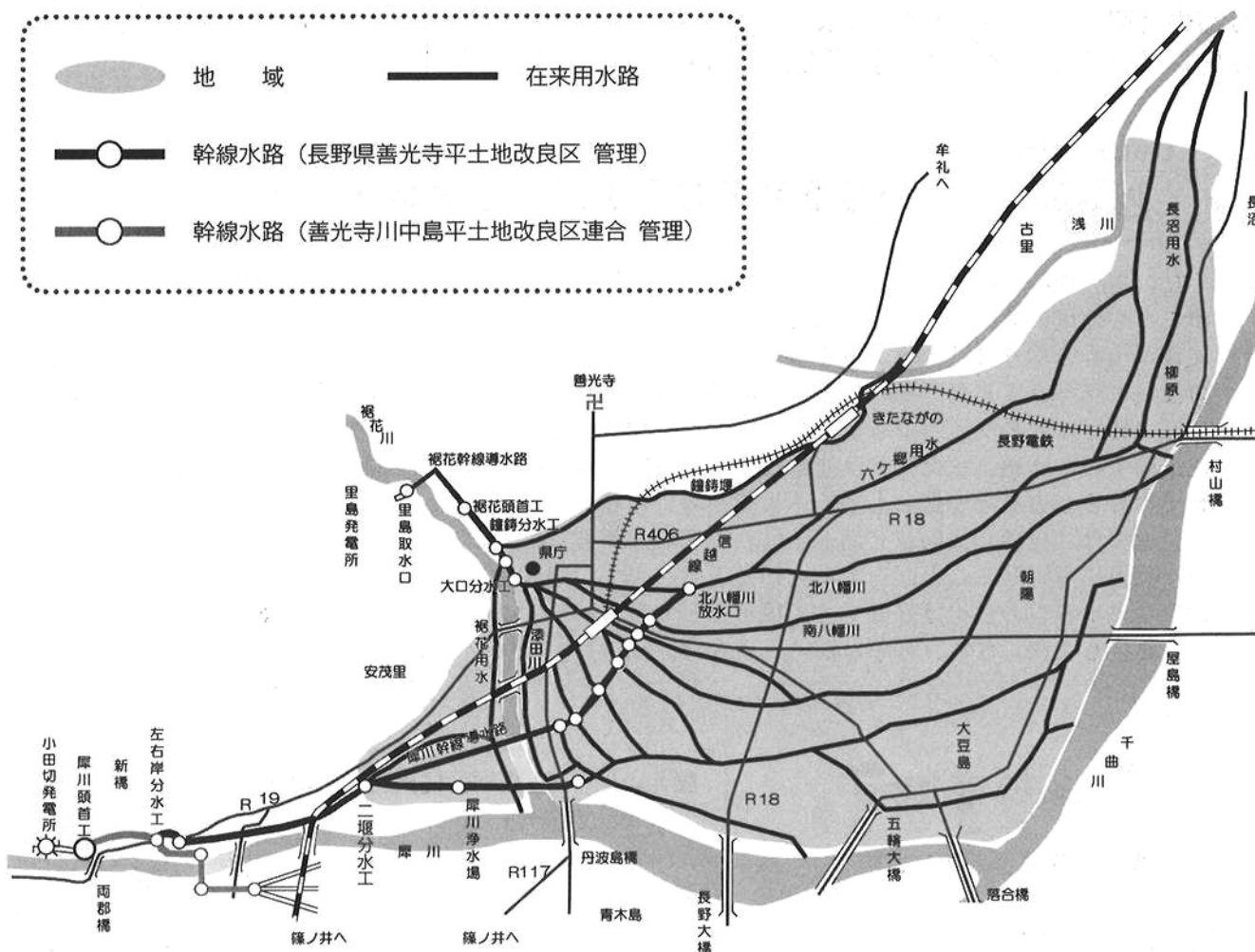
当地区は、北八幡川の分水が流れ、峰村本流堰と峰村南流堰そして更に分水され数か所の河川を経て南八幡川へ流れます。

当地区を流れる川の水は、長野市消防局鶴賀署南側あたり（北八幡放水口）で裾花川からの水と犀川からの水が合流したものです。水量は、裾花水系が3.6割、犀川水系が6.4割です。前者は中部電力里島発電所のあたりから、後者は東京電力小田切ダム発電所あたりから取水されていますが、両方とも昭和になって不足する農業用水確保を目的として作られました。裾花水系は、裾花幹線導水路を通り県庁付近の大口分水工から八幡川と漆田

川などに分かれて各地区へ分散されます。一方犀川水系は、犀川頭首工・二堰分土工などをへて分散され、最終的に北八幡放水口で合流します。

一年間の水量は、普通期・代掻期・非灌漑期で異なります。農業用水ではありますが、非灌漑期は水路施設の冬季維持用水として実情に即し配水されます。

最近では、都市化のため農地も少なくなり、農業用水として利用する機会も少なくなりましたが、今後我々は、河川の今日的役割を再確認し、未来に残していくよう勉強会等で伝えていきたいものです。



笑顔あふれるボウリング大会 ～古牧地区中学生球技大会～

6月28日（日）「第50回古牧地区中学生球技大会」がヤングファラオで開催され、75名の中学生が参加しました。開会式では、大会会長荒井聖子青少年育成部長の挨拶に続き、古牧地区住民自治協議会平出信人会長による祝辞の後始球式が行われ、大会がスタートしました。

各レーンでは、ストライクやスペアが出るたびに歓声が上がりハイタッチをして喜び合う姿が多く見られました。惜しくもピンが残ってしまった場面でも「次がんばれ！」と励まし合う声が聞かれ、会場は終始和やかな雰囲気になっていました。一人2ゲームという短い時間でしたが、中学生たちはボウリングを通じて親睦を深め、楽しく交流する様子が見られました。

大会の最後に行われた表彰式では、1位から3位までの入賞者のほか、ブービー賞や飛び賞の受賞者にも賞品が贈られました。名前が呼ばれるたびに大きな拍手が送られ、「日

頃の練習の成果が出せてうれしかった」「みんなで楽しく過ごせてよかった」など喜びの声が聞かれました。終始笑顔があふれる大会となり、参加した中学生たちにとって思い出に残る一日となりました。（青少年育成部）



【大会結果】（敬称略）

男子の部		女子の部	
1位	土谷 悠真	1位	角田 桃佳
2位	横山 泰也	2位	早川 紗江
3位	野村 旭	3位	宮本 恵

しゃべえんびつ



地区公民館役員を経験して思うこと

私は古牧地区へ移住して30年が経ちました。当初、わが家の子どもたちは小学生であり、長野市のことや地域の仲間のこと等を知るきっかけとして、育成会の活動を担当しました。わが区では、父親が中心となり各種イベントを企画して子どもとともに楽しみました。この経験から地区公民館の役員に誘われました。それによって活動の世界は広がり、地域の高齢者とのふれあいや古牧地区12区の皆さんとの交流ができました。中でも、神社の祭礼儀式的体験、納涼祭や運動会を通じての住民同士の一体感、また文化芸能祭での一芸披露には感心しました。役員として先輩方から地域の歴史や暮らし方を学ぶ機会も多く、大変参考になりました。

最近では「自助、共助、公助」と言われることがありますが、なかでも、共助のためには地域の方々に思いを寄せることがとても大切だと感じます。地区役員不足は相変わらずですが、組織の運営次第では各自の負担は軽減でき、役員として得られる「より楽しく、学ぶ体験の充実」が図られると確信します。なお、私事ながら、現在は区協議員、民生児童委員へと駒を進めています。

（人権・男女参画部 小林 剛）



古牧地区の世帯数と人口

令和8年7月1日現在

12,111 世帯

25,981 人

（男 12,830人 女 13,151人）

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
（電話259-8359・FAX219-1057）
（E-mail: komaki@vivid.ocn.ne.jp）
- 発行者 平出 信人
- 編集 ぶらネットこまき編集委員会
- 印刷 ㈲小池印刷

HPご覧ください



古牧住自協